２０２１年度事業報告書

法人の名称　特定非営利活動法人　なないろ

１、事業内容

（１）特定非営利活動に係る事業

①親子のための育児支援施設の運営に関する事業

ア　保育施設の運営事業

・内容　　保育施設の運営
・日時　　通年
・場所　　神奈川県相模原市南区当麻 862 番地 13
・従業員数　常勤　3 人（児童クラブ事業と兼務）
　　非常勤 7 人（内 5 人は児童クラブ事業と兼務）
　　補助スタッフ 5 人（児童クラブ事業と兼務）
・対象者　　保育を必要とする乳幼児 31 人
・支出額　　13,286,232 円（前年度 12,923,462 円）

イ　児童クラブ施設の運営事業

・内容　　児童クラブの運営
・日時　　通年
・場所　　神奈川県相模原市南区当麻 862 番地 13
・従業員数　常勤 3 人（保育施設事業と兼務）
　　非常勤 8 人（内 5 人は保育施設事業と兼務）
　　補助スタッフ 5 人（保育施設事業と兼務）
・対象者　　児童クラブを必要とする小学生 46 人
・支出額　　13,006,599 円（前年度 13,147,559 円）

２、総括

＊昨年度に引き続き＜密を避ける＞＜消毒の徹底＞＜体調管理＞等、常にコロナを意識した対応に追われた１年だった。

それにもかかわらず、登園人数は変わらず、家庭での保育が可能な方々も登園していたという印象があった。しかし、それだけ保育現場があるということが、保護者にとって重要なものであると改めて感じた。

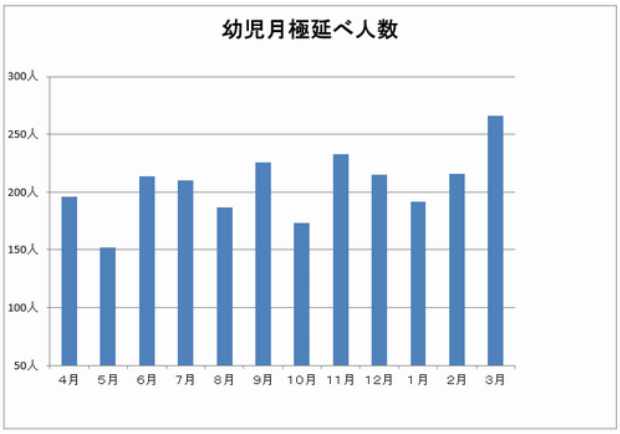
子どもたちにとっても、健康的に過ごし成長していくために園の存在は大きいと感じる。また、子どもの成長に最も大切な母親の精神面のサポートにも重きを置いて、保護者と関わっていかなくてはならないのではないかとも感じる。

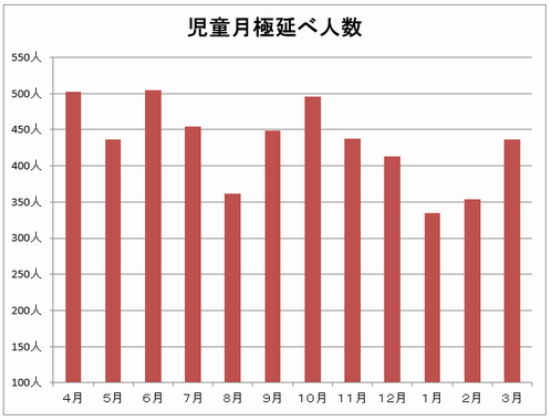
＊年度後半は相模原市内でも学級閉鎖や園閉鎖が相次ぎ、出勤できなくなるスタッフも多く、人員の確保に苦労した。しかし、そのたびにスタッフ同士の助け合いがあり、なないろを休園することなく開所できたことは良かったのではないかと思う。

＊スタッフの雑務時間が年々増加傾向にあるため、スタッフは子どもとゆとりをもって関われるよう、今後は事務や雑務を担当するスタッフの配置、補助スタッフの増員が必須であるのではないか。
なないろを卒園した後でも変わらず＜なないろファミリー＞＜もう一つのお家＞
＜やっぱりなないろっていいな！＞そう思っていただけるよう、気持ちにゆとりを持ち和やかに保護者とも関わっていかれるよう、スタッフが協力し合い次年度に繋げていきたい。

３、利用者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼児月極人数	12	12	12	14	14	14	12	14	14	14	14	14	
幼児月極延べ人数	196	152	214	210	187	226	173	233	215	192	216	266	2480
幼児一時延べ人数	17	9	24	36	23	15	21	18	16	15	14	15	223
幼児18時以降の延長利用延べ人数	2	2	5	2	6	6	4	5	13	7	14	16	82
幼児19時以降の延長利用延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	8
児童月極人数	39	39	40	38	35	39	38	38	39	39	35	35	
児童月極延べ人数	503	437	505	454	361	449	496	438	413	335	354	436	5181
児童一時延べ人数	8	8	6	18	22	19	0	0	3	2	0	0	86
児童18時以降の延長利用延べ人数	91	68	97	69	56	87	70	68	62	51	49	52	820
児童19時以降の延長利用延べ人数	7	9	15	17	19	19	15	14	14	14	11	3	157

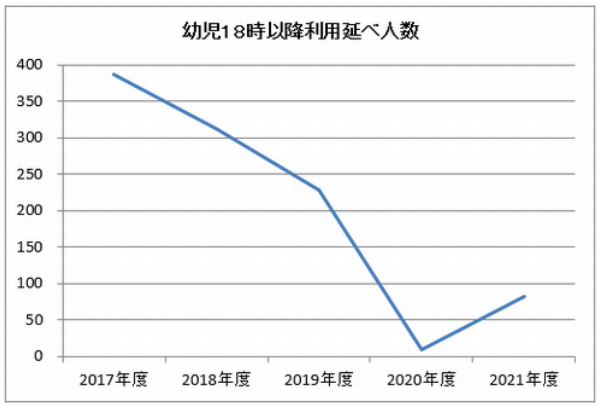


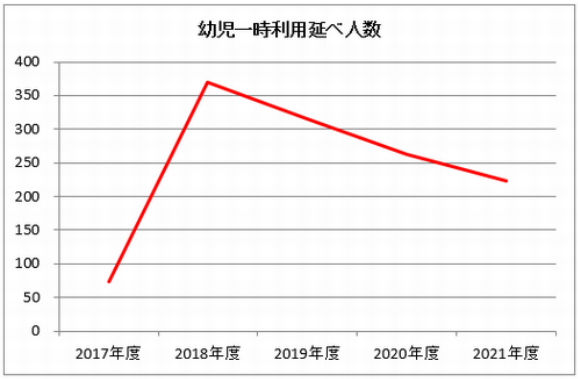


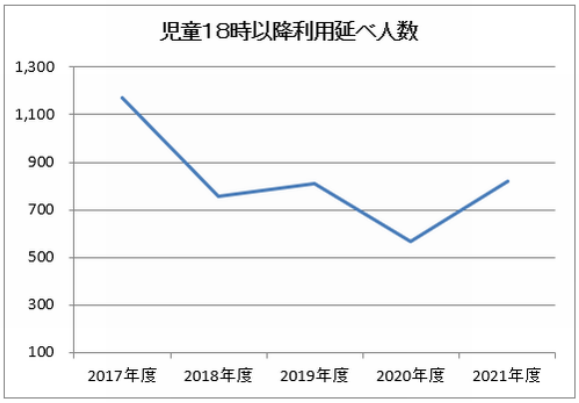
＊月極利用者数は安定してきた。定員数から見ると若干空きはあり、入所希望者も多いので、一人でも多く受け入れてあげたい気持ちもあるが、一時利用者も増えてきているので、安全に預かるということに重きを置くと、月極人数は現状がマックスであるのではないか。

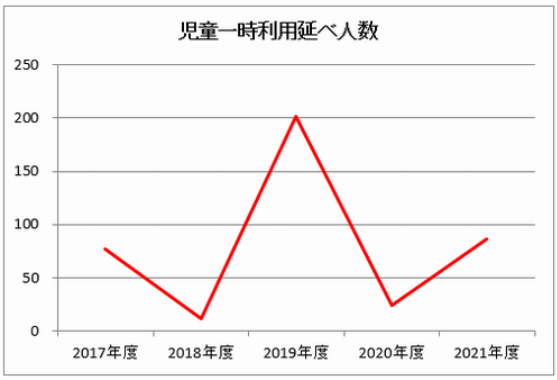
過去５年間の利用者推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
幼児18時以降利用延べ人数	387	313	228	9	82
幼児一時利用延べ人数	74	370	315	263	223
児童18時以降利用延べ人数	1,171	756	812	565	820
児童一時利用延べ人数	77	12	202	24	86









＊幼児の一時利用数の減少は、スタッフの子どもが少なくなったためであり、実質的には増加傾向にある。口コミでの一時利用者が増えてきたのは喜ばしい事である。
特に、なないろ利用者からの紹介で来られる方が多く感じた。嬉しい事だが、より一層普段の保育の仕方や親への接し方を丁寧にしていかなければと感じる。
また、継続的な一時利用者や、一時から月極に移行する家庭が増えてきた。
さらに、ホームページをリニューアル後は、ホームページを見ての問い合わせも多くなってきた。

＊遅くまでの延長時間も一定数の利用があり、延長があるから当施設に入所を希望する利用者の希望に応えなくてはならないと感じる反面、１８時以降のスタッフ配置を今後どうしていくか課題はある。

４、事業報告

月	保育部門	児童クラブ部門
４月	**今年度の入園・進級プレゼント** 毎年七色をモチーフとした手作りストラップを全園児にプレゼント。 **14 日　避難訓練（火災）** 火事の話をし、スタッフの所へ集まる。消防車の紙芝居は集中して見ることができた。 **子どもの日製作** みんなの手形スタンプで、大きなこいのぼりを製作した。 	**2日　園外保育** 近隣の公園へ出かける。新入児もスムーズに輪の中に入り、子ども同士でよく遊んでいた。 **こどもの日製作** クリアフィアルを再利用してこいのぼりの製作を行う。カラフルなこいのぼりがたくさん出来上がった。
５月	**13 日　健康診断** **19 日　避難訓練（火災・防犯）** 少しずつスタッフの話しが聞けるようになってきた。	**19 日　避難訓練（防犯）** 不審者が侵入してきたときの合図について話し、静かに行動できたが、事前に話をしていたので皆そわそわしていた。
６月	**17 日　避難訓練** どの子も泣いたり騒いだりすることなく静かに行動できていた。揺れがおさまるまでその場でじっといていることができた。	**おやつ（防災食）** フードバンクから頂いた防災食のビスケットを食べた。

<table>
<tr>
<td>7 月</td>
<td>

13日　健康診断

16日　避難訓練

うちわ製作　糸ひきアート

紐を絵の具に浸し、2 枚合わせた画用紙の中に入れて、上から手で押さえながら引っ張り出す。大きい子は途中から一人で紐を引っ張ることができた。できた模様を見て不思議そうな表情や嬉しそうな笑顔が見られた。

</td>
<td>

うちわ製作

クレヨンと絵の具を使ってはじき絵のうちわを作る。自由な発想で思い思いのオリジナルうちわが出来上がった。

</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="3">8 月</td>
<td>

23日　避難訓練（火災）

今回は抜き打ちで行った。スタッフが大きな声で「火事だ！」と伝えても怖がったりすることなく、サンダルを履いて屋外へ避難することができた。

</td>
<td>

23 日　避難訓練（火災）

児童も抜き打ちで行った。１階からのコールで火事を知り、子どもたちもピリッとした空気になった。久しぶりの避難訓練だったが、まとまって行動できた。

</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">

夏のお楽しみ

</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">

昨年度に引き続き、コロナの影響で夕涼み会やお泊り会等の行事が行えなかったため、通常の保育の中で楽しめる企画を立てた。

2～6 日　ななリンピック

オリンピック開催中だったので、なないろでも個人戦や団体戦で楽しめるゲームを行った。日に日に白熱していき、メダルを取りたいと意気込んでいる子も多かった。

1 日目＝腕相撲・卓球ラケットリフティング
2 日目＝風船割り・魚つり
3 日目＝ひっくり返しゲーム・手押し相撲
4 日目＝文字ならべ・豆うつし
5 日目＝じゃんけん大会・クイズ大会

</td>
</tr>
</table>

腕相撲

卓球ラケットリフティング

風船割り

魚つり

ひっくり返しゲーム

手押し相撲

文字ならべ

豆うつし

じゃんけん大会

クイズ大会

メダル獲得
おめでとう！

4日　メントスコーラ

すっかりなないろの夏の風物詩となったメントスコーラ。どうやったらもっと高く吹き上がるか研究し、年々うまくなってきた。今回も成功し、とても高く吹き上がった。終えた後はフルーツポンチにしていただいた。

20 日　ミニ夕涼み会

例年は外部の方も招いて大規模な夕涼み会を開催していたが、今年度は園内で子どもたちが楽しめるゲームを行ったり、外部の出店者を募り、ベーグル・お弁当・ハンドメイド作品・占い等を出店していただいた。地域の夏のお祭りなども中止が相次いでいたので、子どもたちだけではなく保護者の方もとても喜んでいた。

お魚すくい

箱の中身は
なんでしょう？

保護者の方と
ヨーヨー釣り

ワニワニパニック

魚つり

輪投げ

的当

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">水遊び

卓球
本物の卓球台をいただき子どもたちは大喜び</td></tr>
<tr><td>9 月</td><td>14 日　健康診断

15 日　避難訓練（地震）
事前に「地震が来たらダンゴ虫のポーズをして頭を隠す」という話をし、練習をした。「地震です！」という声かけにスムーズに移動し、ポーズもすることができた。</td><td>14 日～　敬老の日製作
いろいろな素材を自由に使ってメッセージボードを製作した。
 </td></tr>
<tr><td>10 月</td><td>20 日　避難訓練（火災・防犯）
消防車が登場する紙芝居を読んでから避難訓練を行った。理解できていたのか、静かに行動することができた。
29 日　ハロウィン<詳細別途記載></td><td>29 日　ハロウィン<詳細別途記載></td></tr>
</table>

ハロウィン

〈幼児〉

目的

季節の行事をみんなと一緒に楽しむ

内容

コロナ禍のため、外出を最小限にしながらも近隣のタイヨー電気さん、タキオンさんに協力を頂きお菓子をいただいた。

「手をたたきましょ」の歌を楽器を持ちながら歌う練習をし、外出先で発表した。少しの時間だったが地域の方との交流もできた。

園内に戻ってからはオバケの前にボールプールに入ったお菓子を用意。度胸試しに一人ずつお菓子を取りに行った。まったく怖がらない子、怖くて動けない子、さまざまだった。

反省

・外出先が近くだったので、子どもたちにも負担が少なく、ちょうど　良かった。

・静かに、でも楽しくできるように配慮した。歌の発表はどうしても声を出してしまうが、必要最低限の事はできたように思う。

<table>
<tr>
<td></td>
<td colspan="2">
〈児童〉
目的：季節の行事を知り、自分(個人)の仮装用アイテムを作り、気持ちを高め楽しんで参加する。
内容：今年度はコロナの影響を考え、仮装は園の衣装を使わず、自分個人のものを作り使いまわしをしないように配慮した。

お菓子の袋詰めコーナーやつかみ取りコーナーを設けると、好きなお菓子を選べたりたくさん取れることを喜んでいた。
・仮面作りやカラーポリを使っての衣装作りは、当日を期待して楽しんで行えた。
・お菓子の袋詰めでは予想よりお菓子をたくさん詰める子が多く、急遽お菓子を足した。
・つかみ取りでは幼児スタッフとの交流もできた。

</td>
</tr>
<tr>
<td>11 月</td>
<td>
8日　救急法研修
＜詳細別途記載＞
16 日　健康診断
19 日　避難訓練（火災）
園庭で自由遊び中に訓練を行った。園庭から集まり避難する訓練はあまりしていなかったが、「火事だよ」と声かけをするとしっかり集まることができていた。
勤労感謝の日　製作
松ぼっくりに色を塗り、保護者へのプレゼントを作った。

</td>
<td>
8 日　救急法研修
＜詳細別途記載＞
勤労感謝の日　製作

何のために作るのか、誰に感謝を伝えるのかなどの話をして製作を開始した。
松ぼっくりの色付けを行い、色選びの過程など楽しんでいた。

24日　避難訓練（火災）
移動は速やかにできたが、競争のように我先に行こうとする姿もあったので、急ぐことは大事だが、慌てて転ばないようにと声を掛けた。
</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">救急法研修
救急隊の方に来ていただき、心臓マッサージと AED の使い方を学んだ。以前研修で学んだことのあるスタッフも、再度確認できる良い機会になった

子どもたちは消防車や救急車を間近で見れて大喜び。</td></tr>
<tr><td>12 月</td><td>3 日　引き渡し訓練（地震）
＜詳細別途記載＞
24 日　クリスマス会
＜詳細別途記載＞
27 日　もちつき

毎年恒例の餅つき大会。興味津々で見学していたが、いざ自分の番になると、固まってしまいできない子もいた。
おもちは食べられないので、おやつに半殺しにしたおにぎりをいただいた。
 </td><td>3 日　引き渡し訓練（地震）
＜詳細別途記載＞
24 日　クリスマス会
＜詳細別途記載＞
27 日　もちつき

子ども用の杵を使って、鏡餅用の餅をついた。高学年の子は餅をつく姿も様になっていた。別に機械でついた餅をおやつで出すと、みんな美味しいと喜んで食べていた。
 </td></tr>
</table>

引き渡し訓練

〈幼児〉

震度５の大地震を想定し引き渡し訓練を行った。
「地震だよ！」の声掛けで集まり、点呼。机の下へ避難し、だんごむしのポーズをする。午睡明けの時間帯だったが、パニックになる子もおらず、普段からの訓練が身についていると感心した。
保護者にはらくらく連絡網を使って引き渡しの連絡を行った。園庭に避難後は、寒さ対策をしながら保護者のお迎えを待った。

〈児童〉

幼児と同様、震度５の大地震を想定。室内の安全な場所に集まり、身を守る姿勢をとった。
その後は、おやつにかんぱんを食べ、
バスタオルで手作りの防災頭巾を作る。
興味を持って作ろうとする子が多く、
出来上がった防災頭巾をかぶってお迎えを待った。
災頭巾は好評で、記念撮影をする保護者もいた。

クリスマス会

〈幼児〉

知り合いのベーグル屋さんにサンタ役をお願いし、園に来てもらった。園庭で外遊び中に、突然サンタさんがやって来てみんな驚いていたが、お菓子のプレゼントをもらい、嬉しそうな顔をしていた。

〈児童〉

終業式後のクリスマス会で、児童たちはウキウキ気分。サンタさんが登場し、プレゼントをもらうと、みんな喜んでいた。なないろで用意したプレゼントをシャッフルしてもらうゲームをすると、とても盛り上がっていた。

1月

4日　初詣

年が明け、初めての登園。児童と手をつなぎ、当麻山無量光寺へ初詣に行った。
長い距離だったが頑張って歩いていた。

11日　健康診断

14日　避難訓練（火災）

事前に話をして訓練をしたこともあり、とても上手に最後まで訓練をすることができたが、靴を自分で履こうとする子が少なかった。

4日　初詣

幼児と一緒に初詣へ。手をつなぎ歩いて行ったので、幼児の歩くペースに合わせてゆっくり、気をつかって歩いてくれた。

<table>
<tr><td rowspan="2">2 月</td><td>3 日　節分<詳細別途記載>
16 日　避難訓練（地震・火災）
2～3 歳児はだいぶ流れも分かり、スムーズに避難することができていた。月齢の低い子はまだ難しいが、少しずつ伝えていきたい。</td><td>3 日　節分<詳細別途記載>
16 日　避難訓練（地震・火災）
避難中は静かに移動できたが、スタッフの話を聞く際は私語が出てしまったので、緊張感をもって行えるように伝えた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">節分
〈幼児〉
導入に豆まきの本を読むと、みんな集中して興味津々の様子だったが、いざ鬼があらわれると、ほとんどの子が大泣きし、豆（カラーボール）を投げられなかった。最後には鬼役がスタッフだと分かり、安心した子もいた。

〈児童〉
スタッフから節分の由来等の話を聞いた後は、恒例行事となっている年男・年女の豆まきを行った。ベランダから年男・年女が当たり入りの紙を丸めたものをまき、園庭で他の児童が拾い、当たりを探すというもの。当たりが出ると景品がもらえるため、みんな真剣で、とても盛り上がっていた。

 </td></tr>
<tr><td>3 月</td><td>17 日　健康診断
25 日　旅立ちの会<詳細別途記載>
30 日　お別れ遠足
児童と一緒に近隣の公園へ手をつないで行った。天気も良く、桜が満開の中、児童とたくさん遊んでもらった。
 </td><td>25 日　旅立ちの会<詳細別途記載>
30 日　お別れ遠足
近隣の公園へ行き、ドロケイやバドミントン、フリスビーや木登りなど、たくさん身体を動かして遊んだ。
 </td></tr>
</table>

旅立ちの会

〈幼児〉

なないろでは、「卒園」と言わず、いつでも“もうひとつのお家”として戻って来られるようにとの意味を込めて、「旅立ちの会」と呼んでいる。日常の光景や個々の成長をうつしたスライドショーは保護者にも好評。また、これまでの写真を詰め込んだアルバムや子ども、保護者へ向けた感謝状も贈呈した。最後にはなないろの園歌「にじ」を子どもたちと歌い、和やかな会となった。

〈児童〉

児童はアルバム、感謝状に加え、児童が保護者に宛てて「感謝の手紙」を読む。手紙を書く機会も少なくなってきたが、節目に保護者への気持ちを伝える良い機会になっている。

また、旅立つ子を見送る幼児・児童は、旅立ちの会に向けて園内を装飾していく。看板や階段壁面の桜の木、みんなの思いが詰まったメッセージボードなど、一生懸命準備していた。

★SNS

「今日のなないろ」http://k2love2.blog53.fc2.com/
「フェイスブック」https://www.facebook.com/nanairo.kids.room/
「インスタグラム」https://www.instagram.com/nanairo_kids/
「今日の給食」　　http://7716lunch.blog.fc2.com/

★その他

食育	5月下旬からはつか大根の種や、ナス・きゅうり・ピーマンの苗などを子どもたちと一緒に植えた。園庭に出るたびに子どもたちは苗を気にかけ、水やりも積極的にしていた。 野菜がだんだん大きくなっていく姿を、お迎えに来た保護者と一緒に観察している姿もよく見られた。 はつか大根は1か月ほどで収穫できるようになり、子どもたちで収穫し、調理スタッフにお願いし、給食でいただいた。 その後も次々と野菜が収穫時期を迎え、月齢の高い子はスタッフと一緒にハサミでナス・きゅうり・ピーマンなどを収穫した。穫れる度に子どもたちが調理スタッフの元へ野菜を届け、「おねがいします」と調理をお願いする姿がとても可愛らしかった。 また、豆苗の再生栽培にもチャレンジ。 食べられるまでに大きくなるには時間が掛かったが、収穫でき、スープにしていただいた。

伝統食

行事食

なないろでは、伝統行事や二十四節季を意識した伝統食や行事食を給食やおやつで提供している。食べる前には伝統行事等の意味や、どんな願いを込めてこれを食べるかという話をする。イベントに合わせ、伝統食や行事食を食べることで子どもたちに日本の伝統を伝えていきたい。

七夕（そうめん）

土用の丑の日（ひつまぶし）

ハロウィン（かぼちゃ）

冬至（いとこ煮）

小正月（小豆粥）

ひなまつり（ちらし寿司）

7月7日	**七夕**	**1月初旬**	**正月（おせち）**
7月下旬	**土用の丑の日（うなぎ）**	**1月7日**	**七草（七草粥）**
9月中旬～	**お月見（おだんご）**	**1月11日**	**鏡開き（おしるこ）**
9月下旬	**お彼岸（おはぎ）**	**1月15日**	**小正月（小豆粥）**
10月31日	**ハロウィン**	**2月3日**	**節分（恵方巻）**
12月下旬	**冬至（いとこ煮）**	**2月初旬**	**初午（いなり寿司）**
12月25日	**クリスマス**	**3月下旬**	**お彼岸（ぼたもち）**

＊利用者の方から畑で採れた野菜の寄付や、フードコミュニティーの方からも食材を頂き、旬の物を給食で提供できたことや、おやつを提供できることは嬉しい限りである。また、フードロスの観点からも、頂いた食材を有効に活用していきたい。
フードコミュニティーの活動に、なないろとして協力できる部分を見つけ、相互で助け合っていかれれるよう次年度は考えていきたい。

★スタッフの 2021 年度の振り返り　2022 年度の目標

＜2021 年度を終えて＞

＊マスク生活が当たり前になり、不便さを感じながらもコロナ慣れし、緊張感が薄れてきていると感じる。自分も含め子どもが密になっていても、このくらいはいいだろうと、声を掛けないことが増えてきた。

＊夏休みに、寄付された本物の卓球台でプレーできたことは良かった。

＊子どもたちとの関わり方について、保護者の声を聞くと同時に、なないろとしての対応、考え方をどのスタッフも同じように応えられるよう、普段からの話し合いが必要だと感じる。

＊大きな事故・怪我等がなく１年を終えられた。

＜次年度の目標＞

＊指示を出すより自分でやった方が楽だと思い動いていたが、他のスタッフにも任せられるようにしていきたい。また、嫌な思いを与えず気持ちよく一緒に働けるように、伝え方にも工夫していきたい。

＊送迎時は、いまだ玄関での対応となっているが、できるだけその日の出来事を伝えて、保護者との交流や信頼を深めていきたい。

＊子どもとのかかわり方については、業務に心が行きがちなので、もっとゆったりと構えて、一人一人と関わっていきたい。

＊スタッフ個人の良さを活かした保育をしていきたい。活かすために何ができるかを自分で考え、発信する努力ができたらいいと思う。

＊個々の性格や個性を知り、そこから遊びや見守りの幅を広げていきたい。

＊行事食やイベント食にもう少し力を入れていけたらと思う。